

様式1

令和7年度 学校評価表

学校教育目標																	自立・協働・創造 ～静まるときは整然と はじけるときは思い切り～																																																		
ミッション																	小中連携の推進による自立性・協働性の育成																	自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することのできる生徒の育成																	尾道市立高西中学校																
評価計画																	自己評価																	学校関係者評価																	改善計画																
b 中期経営目標		c 短期経営目標		d 目標達成のための方策											e 評価指標		f 目標値		7月目標値		1月目標値		4月達成度		1月評価		g 結果と課題の説明											h 2次評価			i コメント			j 改善案																							
静まるときは整然と はじけるときは思い切り																	学力的向上		主体的な学びの実現		①個別最適な学び ・逆向き単元構想図・指導案の作成 ・授業の導入の工夫 ・子どもの声に耳を傾けながらの授業改善 ②協働的な学び ・生徒理解に基づく学習集団の育成 ・効果的な協働学習の設定 〈個別ベースと協働ベースを使い分けた単元内自由進度学習の実施〉 ③「いきかたナビゲーション（『いきナビ』）」の実施 ・キャリア・ログ「学びの地図」の活用 ・「なりたい自分」に近づくための理想とするロールモデルとの出会いの設定（キャリア講演会）											①生徒アンケート「授業では、受け身にならず、自立的に自分から進んで学習に取り組んでいます」における肯定的評価		75%																																	
																					②生徒アンケート「授業では、友達と話し合う協働して、自分の考えを深めたり、広げたりしています」における肯定的評価											90%																																			
																					④②学力調査（1・2学年は標準学力調査、3学年は実力テスト）の全国差4月からの変容											4月からの変容 5教科平均+2																																			
																					③生徒アンケート「自分の夢や目標、なりたい自分に近づくために自ら進んで努力することができている」における肯定的評価											80%																																			
																	生徒指導（支援）の充実		お互いの個性を認め合える集団の実現		①生徒にとつての安心・安全な居場所づくりと挨拶が溢れる学校 ・お互いを支え合う集団づくりによる学級経営の充実 「学級力向上プロジェクト」による学級のカリマネ「モデルとしての教師」 「肯定的評価・フィードバック」 ・自己肯定感の涵養 「アセスと学級力アンケートによる生徒支援」 ・SSR「ほっとルーム」の活用 「相談する力」の育成 「自分の強みを知り生かす力」の育成											①生徒アンケート「自分たちの学級は、安心して生活できる学級です」における肯定的評価		90%																																	
																					②学校行事、生徒会活動等をはじめとした「挑戦の機会」の充実と「感動体験」の共有 ・生徒が主体となる自治的活動の推進 「リーダーを中心とした集団づくりとフォローの育成」 「生徒の笑顔、元気を引き出す仕掛け」 ・問題の発見と共有から始まるプロセスを大切にた取組 「学級力向上プロジェクトの推進」 「各学級の状況に応じた学級活動の実施」											②各行事への生徒満足度（肯定的回答）		90%																																	
																	信頼される学校づくり		主体的な学びと お互いの個性を認め合う集団の実現に向けた基盤		①信頼される学校 ・子供に対する教育的愛情と教育に対する使命感をもち、専門性を発揮しながら組織の一員として学校教育目標達成のための取組											『学校の働き方アンケート』において、「教職員間で業務の手助けなど、互いに頼みやすい雰囲気がある」と回答している教職員の割合（23/26人）		88%																																	
																					②学校全体として教育の質を高めるワークスタイル ・業務の見直しとスリム化による時間捻出による授業づくりの充実と質の向上																																														
																					③個人として教育の質を高めるワークスタイル ・それぞれの教員のライフステージやライフスタイルにあった働き方ができるタイムマネジメントによる見通しをもった計画的な職務の遂行とワークインライフの視点にたった豊かな生活の実現											『学校の働き方アンケート』において、「日々の業務の中で充実感を得られている」と回答している教職員の割合		88%																																	

【自己評価：評価】

A：100≦（目標達成）

B：80≦（ほぼ達成）＜100

C：60≦（もう少し）＜80

D：（できていない）＜60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である、ロ：自己評価は適正でない、 ハ：わからない